

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2002004
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



OSプライマーER-N

2液無溶剤型湿潤面接着用エポキシ樹脂

① はじめに OSプライマーER-Nは、二液型エポキシ樹脂を利用した下地強化・仲介接着を目的としたプライマーです。様々な下地に対する安定した接着性が得られます。

ポリマーセメントモルタル、特にセメンテックスCMSシリーズ、セメンテックスVFシリーズ、カチオンスターシリーズなどのプライマー材として使用します。

② 特長

1. エポキシ樹脂の特徴を生かした、広範囲の物への上工程の接着物の剥がれ防止や表面処理効果が期待できます。
2. 湿潤面に対しても接着力が良好です。
3. 温度環境での施工に対応するため、粘度を調整した2タイプを用意しています。

③ 用途

1. 各種下地の表面強化
2. セメンテックスシリーズ各種のプライマー材

④ 荷姿 12kgセット（主剤8kg、硬化剤4kg）

⑤ 配付合量

	主剤	硬化剤
配合(重量)	2	1
標準塗布量	平滑面:0.2kg/m ² 、(粗面:0.3~0.5)	
施工可能面積	60 m ² /セット(0.2kg/m ² の場合)	

⑥ 物性

養生条件: 25±2°Cで7日間

試験項目	試験方法	OSプライマーER-N	OSプライマーER-NW
硬度	JIS K 7215	83	83
引張強さ	JIS K 7161	53.4MPa	56.3MPa
圧縮強さ	JIS K 7181	86.6MPa	92.2MPa
曲げ強さ	JIS K 7171	87.8MPa	104.0MPa
引張りせん断接着強さ	JIS K 6850	17.1MPa	12.0MPa
付着強さ	乾燥面	3.1MPa(下地破壊)	2.4MPa(下地破壊)
	湿潤面	2.2MPa(下地破壊)	1.6MPa(下地破壊)

※測定結果の一例であり、品質保証値ではありません。

オバナヤ・セメンテックス株式会社

東京：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-6香取ビル TEL:03-3663-7641 FAX:03-3661-0496
 名古屋：〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1-48 TEL:052-851-9361 FAX:052-851-9450
 大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-26天神第一ビル TEL:06-6305-0371 FAX:06-6305-0372
 工場：〒511-0432 三重県いなべ市北勢町東村1339 TEL:0594-72-3414 FAX:0594-72-3485

⑦ 性状

項目	OSプライマーER-N		OSプライマーER-N(W) 低温用	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
外観	乳白色グリス状	茶褐色液状	乳白色ペースト状	茶褐色液状
配合比	主剤：硬化剤＝2：1（重量比）			
配合粘度	44,000 mPa・S(25℃)		40,000 mPa・S(5℃) 4,200 mPa・S(25℃)	
配合比重	1.13(25℃)		1.09(25℃)	
可使時間 150g	5℃	—	80分	
	15℃	180分	25分	
	25℃	80分	14分	
	35℃	30分	—	
打設有効時間 ※1	5℃	—	7時間	
	15℃	6時間	3時間	
	25℃	4時間	90分間	
	35℃	3時間	—	

本性状表に記載されているデータは試験結果に基づくものであり、性状を保証するものではありません。

※1 混練後ただちに薄膜で練りひろげた状態

⑧ 使用方法

- ・施工面はレイトンス、油分等の汚れを充分除去してください。
- ・浮き水がある場合は拭き取ってください。
- ・主剤、硬化剤を配合比に従って計量し、ハンドミキサー等で均一になるまで十分混合してください。
※空気の巻き込みが起らないように低速で行ってください、またシンナーや水は混入しないでください。
- ・一度に混合する量は、可使時間以内に使い切れる量にしてください。
- ・可使時間以内にヘラ、コテ、ローラー等で均一に塗布してください。
- ・打設有効時間以内に、モルタル・コンクリートの打設作業を行ってください。
- ・OSプライマーER-Nが硬化した場合は、再度OSプライマーER-Nを塗布してから打設を行ってください。

【消防法による分類】

OSプライマーER-N 主剤：指定可燃物、合成樹脂類、硬化剤：危険物 第4類 第3石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

OSプライマーER-N(W) 主剤, 硬化剤：危険物 第4類 第3石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

【取り扱い上の注意】

本製品は、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると健康障害や皮膚障害を起こすことがありますので、取り扱いには下記の事項を守ってください。

- ①本来の用途以外に使用しないでください。
- ②作業場の換気を良くしてください。
- ③かぶれやすい物質を含有しているので、目に入ったり皮ふに触れないよう注意し、必要に応じて保護具を着用してください。
- ④目に入った場合は、水で良く洗い流した後、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ⑤皮ふや作業着等に付着した場合は、良く洗い流してください。
- ⑥多量の蒸気を吸入した場合や、誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師の診断を受けてください。
- ⑦取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。

【貯蔵・保管・廃棄上の注意】

- ①子供の手の届かない所に保管してください。
- ②貯蔵・保管は冷暗所にて雨水にぬれないようにしてください。
- ③他の物と混同しないように、一定の場所を決めて貯蔵してください。
- ④廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をお読みください。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。